

## CSRや法令順守

### 連続セミナー開始

#### 企業幹部向けに計7回

企業の社会的責任(CSR)やコンプライアンス



CSRとコンプライアンスをテーマにした企業向けセミナー16日、那覇市の拓ぎでんふれあいホール

(法令順守)をテーマに、琉球大と沖縄電力など三社が主催する企業幹部向けの連続セミナーが十七日、那覇市内で始まった。昨年や本年度上期に続く企画で、来年一月三十日まで計七回開催される。

初回はセミナーの企画・運営にかかわる新日本有限責任監査法人CSR推進部長の大久保和孝氏が講師を務め、不祥事対応などの危機管理や内部統制について語った。企業の幹部や経営者ら約三十人が出席した。

大久保氏は「コンプライアンス」を「法令順守という単純な意味でなく、社会の要請に応えながら業務に

取り込んでいく日常・継続的な活動」と説明。常に変化する社会の要請や期待に柔軟に対応する従業員への「コンティビティ(感受性・鋭敏性)や、リーダーを含めたそのための人材育成が重要だと説いた。

県内での食品表示偽装や賞味期限切れ問題にも触れ「社会の環境や消費者の意識が劇的に変化していることを理解しないといけない。悪いかどつかは社会の尺度で測るべきだ」と指摘。金秀商事の消費期限表示の重ね張りなどについては、初動対応の遅れが問題の拡大を招いたとの認識を示した。